

副作製  
委員長

矢野 恵子

(男2歳のママ)

転勤族として、子育て支援の厚い県としての認識がありましたが、取材を通して公的機関以外の私的な場でも、子ども連れに対して温かい場所・お店が多い県だと感じました。「子連れだから…」と消極的にならず、お子さんと外に出て育児を楽しんで欲しい。そして、その情報源の一つとしてこの『たっち!』がお役に立てたらと思います。



編集会議はNEXT21の5階なかなか古町多目的スペースを利用して行われました

作製委員

小林 智恵子

(女7歳、女5歳、男3歳のママ)

第3号発行に向けて動き出した中で、うれしかったのは『たっち!』の読者が増えていること! 応援の声! 祖父母や、周りの皆さんの応援に改めて感謝しつつ、怒ってばかりの日々を反省しつつ、今しかない育児真っただ中を楽しみたいと思います。

作製委員

今井 典子

(女13歳、男11歳、男6歳のママ)

創刊号から携わらせていただき、もう第3号。仕事のため、こちらの会議にも出席できず、他の委員の皆さんには迷惑かけ通しでした。でも、作製委員をやったからこそこの出会い、自分から外に出なければできなかった経験、とても良いものばかりでした。

作製委員

中村 富美子

(男2歳のママ)

外出がおっくうになる寒い冬を、毎年どう乗り切ろうかと思っていました。今回、作製委員として参加してみて、冬でも楽しい遊び場や子ども連れでも安心して行けるお店がたくさんあることを知りました。このように子育てに理解のある地域の支えがあるからこそ、充実した子育てができているのだと改めて実感しました。

作製委員

長谷川 由美

(男2歳のママ)

『たっち!』の作製委員を引き受けた直後に第2子妊娠発覚! 長男とおなかの子も協力してくれた(笑)、有意義な時間を過ごすことができました。子育ての先輩であるおじいちゃん・おばあちゃんからの話は、意図地になりがちな私たち親世代の心を少し柔らかくしてくれた気がします。取材にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました!

作製委員

西田 由美子

(男3歳のママ)

今『たっち!』作成委員をさせていただき、子育てにもいろいろなたちがあることを学びました。そして、どの子どもも家族の愛情に包まれているのだと実感しました。子育て中は忙しい毎日ですが、気持ちをリフレッシュしてゆとりのある育児をしていきたいと思いました。たくさんのママ・パパ・おじいちゃん・おばあちゃんの手に『たっち!』が届けばうれしく思います。

たっち!

# 作製委員後記



今井 典子

西田 由美子

菅原 奈津子

矢野 恵子

中曽根 純香



萱場 亜希子

小林 智恵子

中村 富美子

長谷川 由美

副作製  
委員長

萱場 亜希子

(男5歳、男2歳のママ)

第1・2号に引き続き、第3号の作製委員もさせていただきありがとうございます。今まで『たっち!』の作製に関わってきたメンバーのマタニティブームが到来中で、たっちゃん、実は子宝の神様なんじゃないか?と思っています☆

作製  
委員長

菅原 奈津子

(女15歳、男12歳、女9歳、女9歳のママ)

創刊号から携わって今回で3冊目。いろいろな方から声を掛けられるようになった。「次はいつ? 楽しみにしてるよ!」またがんばろうと思う。何よりも、うちの子もたちがこの活動を応援、楽しみにしてくれている。それがまた励みになる。そして家族が笑顔になれる。『たっち!』から笑顔のリレーが始まるといいな!

副作製  
委員長

中曽根 純香

(女2歳のママ)

“育い&育ばあ”の声のおかげで、縦の絆と厚みのある育児の大切さに気付けたことが何よりの収穫です。また、身内以外にも育児サポート機関が思いのほか多いと知り、ラクになりました。自分から助けを乞う勇気や素直な気持ちがあれば、精神的な余裕につながり、自分と子どもにとってプラスになると改めて感じました。閉じこもらず、広い視野で育児をしたいです!!



新潟市ファミリーサポートセンターでの取材の様子